

芦田川をキレイにしよう。光小学校 ながしほん.9.10.11

私たちは総合的な学習の時間に「芦田川をキレイにし地域の人々も笑顔（安心して、くらしが持てる）というテーマで取り組んできました。大人の方の話によると、昔の芦田川は、およげんくらいキレイな川です。しかし、今はたくさんのゴミが流れておおくことが多く、汚れています。そこで私たちは、芦田川がどのくらい汚れているのか、実際に川を見に行き、ゴミ拾いをしました。



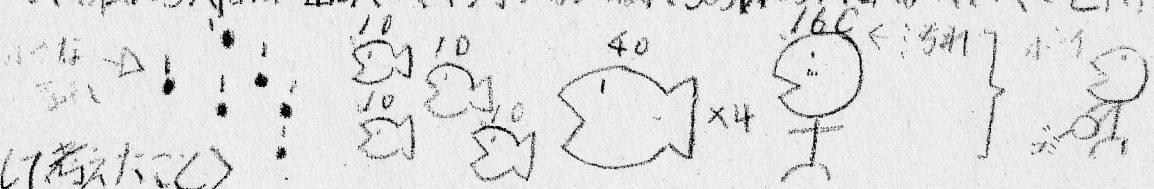
〈川の汚れ〉

私たちが拾ったゴミの多くは、食品のトレーやペットボトル、空き缶など食べ物が入った容器です。これらのゴミは直接捨てられたもの、風で飛んできたもの、上流から流れてきたものであると考えられます。また、目に見えない汚れもあります。芦田川には、生活に使われた水も流れこんでいます。

たくさんゴミが流れて川辺

〈食物連鎖〉

人間が川を汚すと、海も汚れてしまいます。その汚れた水を食べた魚を私たちは食べることにするので、このようにして、私たちが出した、油や汚れが私たちの体の内側へ、いくことになるのです。



〈学習で考えたこと〉

私たち人間は生活が便利になお、たくさんゴミを出さうになり、たくさんの汚れた水を川に流してしまっていました。しかし、その汚れた水は、最後には人間にかえってくるのです。生活をする上で、油や汚れを出してしまうのは、しょうがないことですが、それを川に流さないことが大切です。「ゴミはきちんとふみべつして、められた日に出す」「少くから……」という気持ちでゴミを川に捨つたら、「たらいごころのながしは、油や食べ物のくずを流さない」など、心がけなければならぬことが多くあります。

日本には、とてもきれいな川があります。私たちの芦田川がおよげんこと出来るくらいきれいな川だったら、とてもすばらしいことでしょう。きれいな芦田川にするには、芦田川の周りにすんでいる私たちみんなの小さな努力が必要です。たくさんのお力添えは大きな力になります。私たち一人一人が「芦田川をキレイにする」という気持ちを持ちましょう。

